

## 長距離移動の時間のつかいかた

沖縄職業能力開発大学の諫山先生より紹介を受けました福島センターの矢口です。

諫山先生とは同期で、学生時代は一緒にアルバイトをしたり、とても親しくしていただきました。最近は遠く離れてしまったこともあり、会う機会がなかなか得られませんでしたが当時のことはとてもよい思い出です。

私は仕事の関係上福島で単身赴任をしており、家族は京都にいます。子どもも2人いるので月に1回のペースで家族の下へ帰っています。本来ならばもっと頻繁に帰りたいたのですが、距離的な問題と金銭的な問題が立ちほだかります。

福島から京都は800kmほど離れており、新幹線で移動すると5時間程度かかります。家族に会いに行くのは非常に楽しみなので、移動自体は苦にならないのですが、この時間をどうしても持て余してしまいます。

幸い私は小型のノートパソコンを持っているので、移動時の暇つぶしとして持ち歩くようにしました。6年前のパソコンなので、今となっては遅いものになりますが、うまく調整をするとビデオやDVDを問題なく表示することができます。そこで、長時間の移動にも耐えられるように大容量のバッテリーを購入しました。新幹線に乗っている時間は東北・東海道合わせて4時間弱なので、映画であれば2本くらい見ることができます。東海道新幹線ではノートパソコンを開いて仕事をしているビジネスマンが多いので、違和感もありません。

ただ映画を見るという目的であれば、専用のDVDプレイヤーを入手するという手もあったのですが、液晶モニタの性能は圧倒的にパソコンの方が良く、ビデオをハードディスクに取り込んで持ち歩けるというメリットが

ノートパソコンにはあります。

また、このノートパソコンには思い出があり、我が家の愛犬「福太郎」君が1歳で天に召された直後に懸賞で当たったものです。彼が最後にプレゼントをしてくれたのだと思い、今に至っても大切に使っています。

大容量のバッテリーが結構高くなりますが、小型のノートパソコンをお持ちで移動の機会が多い方はぜひお試しください。

移動中は映画などを見て、子どもと遊んでまた赴任先へ戻る。たまに現れてはおいしいところだけを持っていくようなところがありますが、普段妻が仕事と家庭を両立してがんばってくれ、その協力をしてくれている義母のおかげです。この場を借りて普段はなかなか言えないお礼をさせていただき、リレートークを終わりにしたいと思います。



さて、次回は埼玉センターの高橋友和先生です。高橋先生とは学生時代に音楽部で一緒にバンドを組んでいました。このつながりでリレーを引き受けてきましたが、いよいよ最後のメンバーとなりました。それでは、高橋先生よろしくお祈りします。